

第51号ふれあい神崎



令和3年（2021年）3月号

発行 神崎学区社会福祉協議会（広島市中区）

神崎のホームページ（「神崎学区」を検索入力）

編集責任者 伊藤修史 082-548-5166

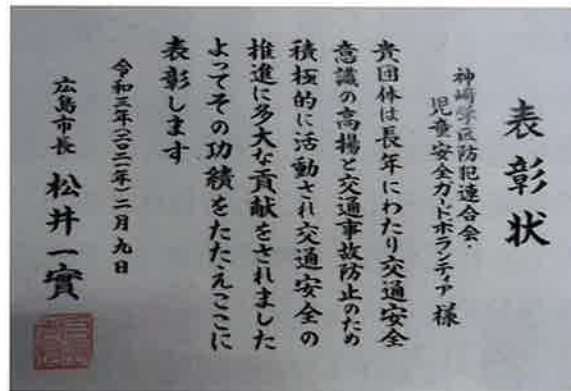
令和2年度は新型コロナウイルスに振り回された1年となりました。神崎学区においても各種団体が予定していた行事のほとんどが中止になりました。団体の目的が果たせない状況になり、役員さんたちは歯がゆい思いをされていますが、それ以上に参加する機会を失った住民の皆さん方の喪失感も大きなものがあったと思われます。

2月中旬から、新型コロナウイルスに対抗するため、医療従事者を対象にしたワクチン接種が始まったとはいえ、新型コロナウイルスとの戦いは長い戦いとなることも想定されます。体を動かすことも大切です。感染対策に心がけて活動しましょう。

あっぱれ「神崎学区防犯連合会・児童安全ガードボランティア」

暗いニュースが続く中、明るいニュースが飛び込んできました。令和3年2月9日広島市・松井一實市長から、神崎学区防犯連合会の児童安全ガードボランティアの皆さんが長年にわたる功績が認められ「表彰状」が授与されました。

現在、児童安全ガードボランティアの皆さんは、通学路に沿って20数か所の交差点で、児童の登下校を見守っています。本年度も緊急事態宣言により小学校が休校になった時以外は、ずっと児童の登下校の安全見守り活動を続けています。



また、交通安全運動推進隊の兼重璋夫、兼重恵子、有吉重穂3氏の方々も広島市教育委員会から感謝状が授与されました。おめでとうございます。

暑い中・寒い中ご苦労様です

学区防犯連合会は毎月第1・2・3・4週の金曜日午後8時から45分前後かけて学区内南北に分かれて防犯パトロールを行っています。

パトロール活動登録者は40人近くおり、毎回12～15人で巡回されています。



仲間と共に楽しむ君が 優勝だ！ 神崎小学校運動会

令和2年10月24日（土）澄み渡る秋晴れの中、運動会は開催されました。子供たちは、短距離走や団体競技に一生懸命に取り組み、持てる力を十分に発揮することができました。例年とは違い新型コロナウイルス感染拡大防止策として低学年、中学年、高学年と学年ごとに出場する時間を限定することとなりました。プログラムの節目では、観客の入れ替えを静かに行っていただきました。お陰様で皆様に気持ちよくご観覧いただくことができました。ありがとうございました。



観客席はマスクをして静かに応援

神崎学区民健康グラウンドゴルフ大会（公衆衛生推進協議会主催）

公衆衛生推進協議会主催の学区民健康グラウンドゴルフ大会が、令和2年11月23日（勤労感謝の日）秋晴れの中で開催されました。参加者は60名弱、新型コロナウイルス感染拡大が小康状態の中で、感染対策を講じながら実施されました。参加者の多くは高齢者ですが、若い人や子供も参加しての開催となりました。大会自体は縮小しての開催となりましたが、日ごろ運動不足になりがちな状況が続く中での実施で、思う存分迄とはいかないまでも、参加者の皆さんは適度な運動を楽しまれた様子でした。優勝は本西の藪口謙二さんでした。



準備運動は念入りに



この距離なら入るかな？

街をきれいに＜クリーンウォーク＞（体育協会・子ども会連合会主催）

令和3年2月27日（土）、前日の雨とは対照的に良い天気の中、体育協会と子ども会共催、公衆衛生推進協議会後援によりクリーンウォークが実施されました。今年は各種スポーツクラブの子ども達の参加も多く、全体の参加者は130名を超えるものでした。

収集後、舟入第三公園には沢山のゴミが集められました。コロナ禍の中ですが、気持ちの良い1日のスタートになりました。皆様のご協力ありがとうございます。



神崎小学校出発前



路上のゴミ収集の風景

ペタンク大会（体育協会主催）

寒さも和らいだ令和3年3月7日（日）、学区ペタンク大会が開催され、30人余りの参加者が楽しみながら4試合を競い合いました。ペタンク自体なじみの薄いスポーツですが、1910年が発祥の起源とされていますが、日本ではニュー（軽）スポーツとして普及し、50年近い歴史があります。競技方法としてはカーリングに近いルールで、6個ずつの鉄球を投げ合って競うスポーツです。子どもから、お年寄りまで楽しめるスポーツとして、静かなブームとなっています。優勝は本西チームでした。



伝統行事は続けたい

新型コロナウイルス感染症が収まらないため、神崎学区では多くの町内会は、軒先に紙垂は張るものの、秋祭りの一連の行事は行われませんでした。その中で唯一、舟入本町西町内会において秋祭りが実施されました。

伝統の活動を続けたいとの思いから、令和2年10月18日（日）「神輿だけでも町内会を曳いて廻ろう」と実施されました。祭り当日、子ども達5人の参加があり、密にならないよう神輿を曳くことになりました。例年なら「ソリヤー、ヤートコセー、ヨーイヤナー」と威勢のよい声をかけて神輿を曳きますが、今年ばかりは、声を出さず静々と曳いて廻りました。

「子ども達には、これも思い出の1ページとなるのでは」との思いがよぎる祭りとなりました。



役員だけで曳いて廻ろうと思っていましたが、子ども達も参加

ふれあい神崎コーナー

令和2年度の住民主体型生活支援訪問サービス事業「ふれあい神崎」は、緊急事態宣言により一部の活動を除き休止期間があったとはいえ、活動実績は次のとおりとなりました。利用日数から見ると2年目の実績としては一定程度の評価はできますが、利用者数は6人と少なく、住民の皆様方への制度の周知が不十分なところが原因かもしれません。ご気軽に相談をお願いします。

また、ゴミ出し支援サービスを提供する中で、ご近所の方が支援を申し出ただくなど、地域で支える活動に発展している事例は特筆すべきものと考えます。

サービス活動延べ日数	111日	コーディネート活動延べ日数	13日
サービス活動延べ人数	119人	コーディネート活動延べ人数	14人
相談開設日延べ日数	49日		
相談日延べ従事者数	200人		

毎週 月・木・金曜日 午後2時から4時まで 相談を受け付けています。

電話番号 082-548-5166 (神崎会館内・ふれあい神崎事務所)